

令和7年
夏

2025/Summer

TAKE FREE

希望 つなぐ



INFORMATION

広報委員会ご挨拶

みなさまには平素より当院へのご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この度済衆館病院の広報誌は、新しい時代を切り拓くべく、季刊誌として充実、発展を試みることになりました。そのタイトルを決定するにあたり、様々なご意見を頂戴したなかで、マンスリー済衆館だよりのタイトルであった“希望”に“つなぐ”というタイトルをあわせ、済衆館病院がこれまで積み上げてきたものを大切に守りながら、革新的に未来に向かって、みなさまとのご縁を大切に歩んでいきたいという想いをこめて、『希望～つなぐ～』と命名させていただきました。

希望をもって地域のみなさまとのご縁をつなぐ、職員同士の絆をつなぐ、さまざまな情報をつなぐ、済衆館病院の過去と現在と未来をつなぐ、そんな広報誌でありたいと考えております。

新しい試みで、未熟な部分も多々あるかと思いますが、広報委員会一同みなさまのお役に立てる広報誌となるよう精進して参りますので、私どもの広報誌とともに育てていただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会委員長

今村 亜希子





季刊誌 創刊ご挨拶

本誌をご覧いただき、誠にありがとうございます。
永らくご愛読いただきました当院の広報誌「マンスリー済衆館だより希望」は、このたび装いも新たに、季刊誌『希望～つなぐ～』としてリニューアルいたしました。編集を担当しております広報委員会が、每号心をこめて作成した紙面でございます。地域の皆さまのお役に少しでも立つことができれば大変うれしく存じます。

1914年の創業以来、当院は「身近に質の高い医療を、病期を問わず提供する」を社会的使命として、地域の皆さまとともに歩んで参りました。『希望～つなぐ～』では、日進月歩の医療に関する様々な話題や、当院で注力している診療内容のご紹介をさせていただくほか、医師ばかりでなくリハビリや栄養など様々な分野の専門職種から、患者さまやご家族さまの健康増進に役立つ情報を毎号選りすぐってお届けします。発行回数は年4回に減りますが、内容はこれまでのものを一層充実させて参ります。地域の皆さまが健康で幸せな生活を送ることができるよう、今後も当院としてできる限りお手伝いをさせていただく所存です。その発信基地がこの小冊子です。これからも当院並びに季刊誌『希望～つなぐ～』をご愛読くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



季刊誌『希望～つなぐ～』 創刊号に寄せて

はじめに、これまで長年にわたり、月刊誌『希望』の発行に携わってこられた広報委員会の方々のご苦勞に感謝と敬意を表したいと思ひます。

この夏より季刊誌『希望～つなぐ～』となり年4回の発行になりますが、引き続きよろしくお願い致します。

ろんごようやへん

『博施済衆』これは論語雍也篇にある、政治を行う者の心得とされている言葉です。

「出来る限りたくさんの人々に恵みを与え、一人でも多くの人々を苦しみから救う」という意味で、当院『済衆館病院』の由来であるとされています。

さて、我々済衆館病院だけではなく、医療業界経営そのものが益々厳しい状況となっている昨今ですが、医療業界だけでなく、国民の生活にも様々な不安がある我が国です。

尾張のスーパーケアミックス病院として地域に根ざした済衆館病院の務めは、この地域のすべての方々に安心して医療・療養・介護・在宅療養を受けていただき、みなさまの健康を守りつづけていくことと考えています。

1914年の当院創業以来、今年で111年を迎えます。創業時の「済衆の心」、すなわち多くの人々を救いたいという精神をこれからも『つないで』、地域医療に貢献できますように皆さんと力を合わせて頑張っていきたいと思います。

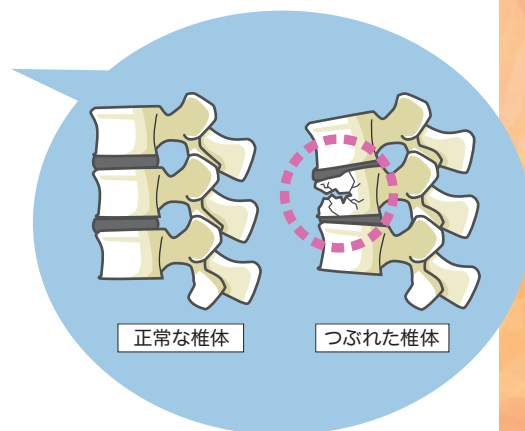
せきついあっぱくこっせつ 脊椎圧迫骨折について

脊椎圧迫骨折は背骨の椎体がつぶれて扁平になったものです。

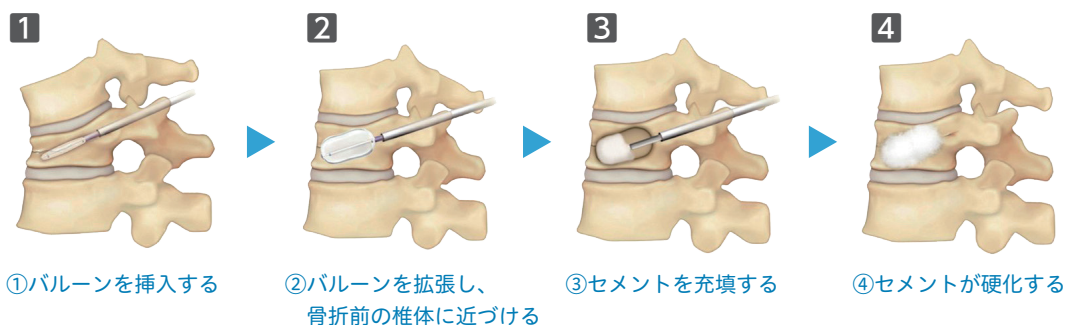
比較的弱い外力によっても生じる骨粗鬆症によるもの(病的骨折の一種)や転移性骨腫瘍による病的椎体骨折、強い外力により生じる外傷性椎体骨折などがあります。



ご高齢の方に起こるものは胸椎と腰椎の移行部(胸腰移行部)あたりの椎体に生じ、ほとんどが骨粗鬆症に起因して尻もちなどの軽微な外力により生じるものです。



今までは安静にして保存的に痛みが軽減するのを待つ治療が一般的でしたが、最近は脊椎圧迫骨折によって潰れてしまった椎体にセメントを注入し、骨折前の形に近づけ、安定させ、早期に痛みをとることにより生活の質(QOL)を向上させることを目的とした椎体形成術(BKP)を行うことも増えてきました。全身麻酔が必要ですが手術そのものは1時間もかかりません。



当院では2025年度より椎体形成術(BKP)を積極的に行っております。痛みが続く際には、**脊髄外科外来(火:午後、水:午後、木:午前、土:午前)**を受診しご相談ください。

副院長
脳神経外科部長
飯塚 宏



誕生食祝膳のご紹介

暦による一般的な行事食の他に、その月に誕生日を迎える患者さまに懐石風の誕生食をお出ししています。誕生食はその月を担当する調理師が献立を立て、栄養士が栄養価計算をして調理師と相談しながら試作を行い味付けや盛り付けの調整をします。誕生食の前には、栄養士が患者さまに直接お話を伺い、患者さまの病態や食形態に合わせて食事内容の決定をしています。

この誕生食も1994年から始まり、今年で31年目になります。月に一度ですが、もし召し上がる機会がありましたら、担当調理師と栄養士の真心こめたお祝い膳をご堪能ください。

栄養科



マイナンバーカードには“メリットがたくさん”あります

医療機関受診時には、マイナンバーカードのご提示を！

- ・医療機関を受診の際、診療・薬剤・特定健診情報の提供に同意すると、ご自身の情報に基づいた診断や重複する投薬を回避した適切な処方や指導などを受けることができ、より良い医療を受けることができます。
- ・高額な医療費が発生した場合でも書類での事前申請は不要です。
自動的に高額療養費払い制度が適用され、一定額以上の支払いがその場で不要になります。
- ・マイナンバーカードは持ち歩いても大丈夫です。
あなた自身のマイナンバーカードを使って、他人が手続きをすることはできません。また、ICチップには医療情報・税や年金などのプライバシー性の高い情報は入っていないのでご安心ください。
詳しくは、厚生労働省ホームページをご確認ください。

マイナンバーカードは
持ち歩いても
大丈夫厚生労働省HP
マイナンバーカードの
健康保険証
利用について

医事課

地域医療に寄与する窓口「患者支援センター」のご紹介

患者支援センターでは主に

- ・医療機関間の診療情報に関わる連携・対応
- ・紹介患者さまの事前対応
- ・救急患者さまの受け入れ対応
- ・他院受診時の予約対応
- ・患者さまの入院受け入れ対応
- ・かかりつけ医相談 などを行っております。

地域医療連携

急性期病院クリニックなどの転院相談・診察予約



入退院支援

入院時から退院までニーズに合った支援をします
病院と在宅・施設との連携

医療福祉相談

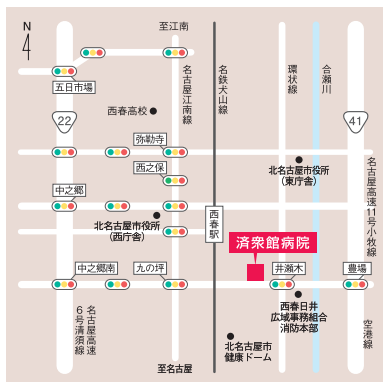
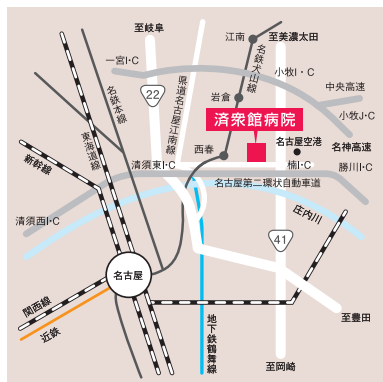
患者さま・ご家族のお困りごと相談



電話窓口業務は3名の事務職員が地域の先生方との病診連携を円滑に行っております。また、医師・看護師・ソーシャルワーカー・事務職員の多職種が協働して、連携業務・入退院調整など患者さまの状況に応じた対応をしております。そして、医療や福祉へのお悩みや受診相談などのご相談につきましては、患者相談窓口を設けております。ぜひ、お気軽にご利用いただければと思います。まずは患者支援センターへお電話下さい。

患者支援センター

【お問い合わせ先】 医療機関の先生：(0568) 21-1732 患者さま：(0568) 21-0811



アクセス

■ お車をご利用の方

- 名古屋より……………約25分
- 一宮インターより……………約15分
- 小牧インターより……………約15分
- 名古屋空港より……………約10分
- 名古屋高速11号小牧線
- 豊山南インターより……………約10分
- 名古屋高速6号一宮線
- 清洲インターより……………約10分

■ 電車をご利用の方

- 名鉄犬山線西春駅より徒歩……………約7分
- 名古屋空港バス九之坪北停留所より徒歩……………約2分



医療法人 済衆館

済衆館病院

〒481-0004 愛知県北名古屋市鹿田西村前111番地
TEL 0568-21-0811(代) FAX 0568-22-7494
E-mail saishukan@rio.odn.ne.jp
https://www.saishukan.com



病院ホームページ